

2 個別事業評価調書

団体名：笠置町

事業名	高速インターネットアクセス基盤整備事業				
事業の概要	高速インターネット基盤の整備に対して補助を行うことにより、採算性等の問題から実現されなかった民間通信業者によるブロードバンドサービスを誘致しました。				
	目標時期	平成17年度			
	総事業費	9,413	本年度事業費	9,413	交付金交付額
事業の必要性	<p>事業実施当初、京都府下でブロードバンドサービスを受けることができない市町村は、笠置町と隣村の南山城村だけとなっていました。</p> <p>NTT等業者間でも採算性が合わないとの理由で導入が見送られていましたが、当然のことながら住民からより利便性の高い高速インターネットサービスに対する要望が高まっていました。</p> <p>また、過疎地域である当町としては、他の市町村と遜色ない環境整備を実現するため、早急に事業を進める必要性がありました。</p>				
事業の有効性	ISDN回線からADSL回線へとインターネット通信の高速化に伴い、様々な情報収集を行うことが容易となり、住民の利便性の向上、そして行政事務の効率化が見込まれました。				
事業の効率性					
具体的な成果	<p>1 府と市町村等との連携に資する成果</p> <p>府や振興局等への各種報告書・回答書について、ペーパーレス化、伝達手段の効率化として、現在ではインターネット通信(メール)が基本となっている中、通信速度が高速化となったため、事務処理に要する時間の短縮が図られました。</p>				
	<p>2 住民の自治意識を高める成果</p> <p>現在のインターネット情報ではADSL回線の利用による使用が前提となっているサービスも多かったため、利用できないもしくは時間を要してしまうケースも多かったのですが、通信速度が向上したため、住民の利便性が高まり、より快適なインターネット環境を整備することができました。</p>				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	<p>5 行財政改革に資する成果</p> <p>様々な情報収集の際にはインターネット回線の通信速度があがることにより、短期間でより多くの処理が可能となり、事務処理に係る時間の短縮が図られました。</p> <p>また、本年度の他の事業として、当町の電算ネットワーク整備が大幅に行われたのですが、その中で出先機関とのネットワークづくりに関しても本事業を活用し、より安定かつ効率的な運営を行うことが可能となりました。</p>				